

北海道アルネット・旭山病院(依存症治療拠点機関)共催

第8回アディクションZOOMセミナー



家族に伝えてほしいこと ～こまった時の対応「わ・ご・む」～

講師 医療法人北仁会 幹メンタルクリニック 木村直友 先生
看護師長兼事務長代理

司会: 医療法人北仁会 石橋病院 3-1病棟師長 川添智尋 先生

参加料

無料



[日時] 8月5日(金) 18:00～19:15頃

[会場] ZOOMによるWEB配信

[対象] 精神保健福祉に関わる専門職

[申込] 北海道アルネットのHP又は
QRコードから申し込みください

8月3日締切

依存症の治療で重要な事の1つである「家族支援」。看護師である私が、クリニックで家族支援を行っている中で大切にしていること、家族に伝えてほしいことがあります。それを本研修にて共有

「北海道アルネット、依存症治療拠点機関共催ZOOMセミナーの目的」

- ・ 依存症支援者のすそ野を広げ
- ・ 各地で孤軍奮闘している支援者とのつながりを促進
- ・ 医師、看護師、ソーシャルワーカー、医療、福祉、司法関係者などさまざまな立場、分野から報告

「家族支援」

講師：看護師 木村直友 先生
申し込み62名
実参加者50名程度

「内容」

- ・ CRAFT：家族支援のための認知行動療法プログラム
- ・ 患者と援助者との良好な関係作り
- ・ 支援者同士の連携 など

北海道アルネット 特別企画

2022年8月28日(日)

【日時】2022年8月28日 10:00～11:30頃

【方法】オンライン配信 (ZOOM)

【講師】大石クリニック 医師 加濃 正人 先生

司会：手稲溪仁会病院 精神保健科 白坂知彦 先生

【対象】依存症支援、精神保健福祉に携わる専門職の方
(先着90名)

演習を行いますので必ずビデオカメラをONにし、
会話ができる環境での参加をお願いします。

【参加費】無料

【申し込み】北海道アルネットのホームページ
又はQRコードから申し込みください。
研修前日にZoom入室用のURL、ID、パスワード
をお送りします。



実践で使いたくなる！動機づけ面接超入門

動機づけ面接は「行動変容への動機と決心を強化するための協働的な会話スタイル」と定義されます。各種行動変容問題に効果が示されていますが、アルコール症においては、米国精神医学会の治療ガイドライン等で、認知行動療法や自助グループなどとともに強固な信頼性を持って使用が推奨されている方法です。本研修では、動機づけ面接の精神を体感できるような演習を交え、翌日から「さわり」を使えることを目標としていきます。(講師記)

<講師紹介>

加濃正人 先生

1997年横浜国立大学医学部卒業、1999年同大学大学院医学研究科修了、同大学助産、学

実践で使いたくなる！

動機づけ面接超入門

動機づけ面接とは、1983年にアメリカのウィリアム・R・ミラー博士とイギリスのステファン・ロールニック博士を中心として開発されたカウンセリングの手法の一つ。

依存症者の多くは「止めなければならない、でも止めたくない」など葛藤している。

依存症治療ではしばしば飲酒をめぐる治療者や家族と対立をする。「何度失敗したらわかるの！！」「酒は体に悪いからやめなさい」

動機づけ面接は指示や命令ではなく本人が目的（例えば断酒、糖尿病の食事制限）を達成しようとする動機が強まっていくようにする技法。